



如淵外史作

忠

義

教

誠



~ 13
3736
7

赤松

譚

一陽齋豊國画

錦重堂板



~ 13
3736
8

下





如淵外史作

忠
義
教
誠

へ 13
3736
7



門 へ 13
 3736
 7

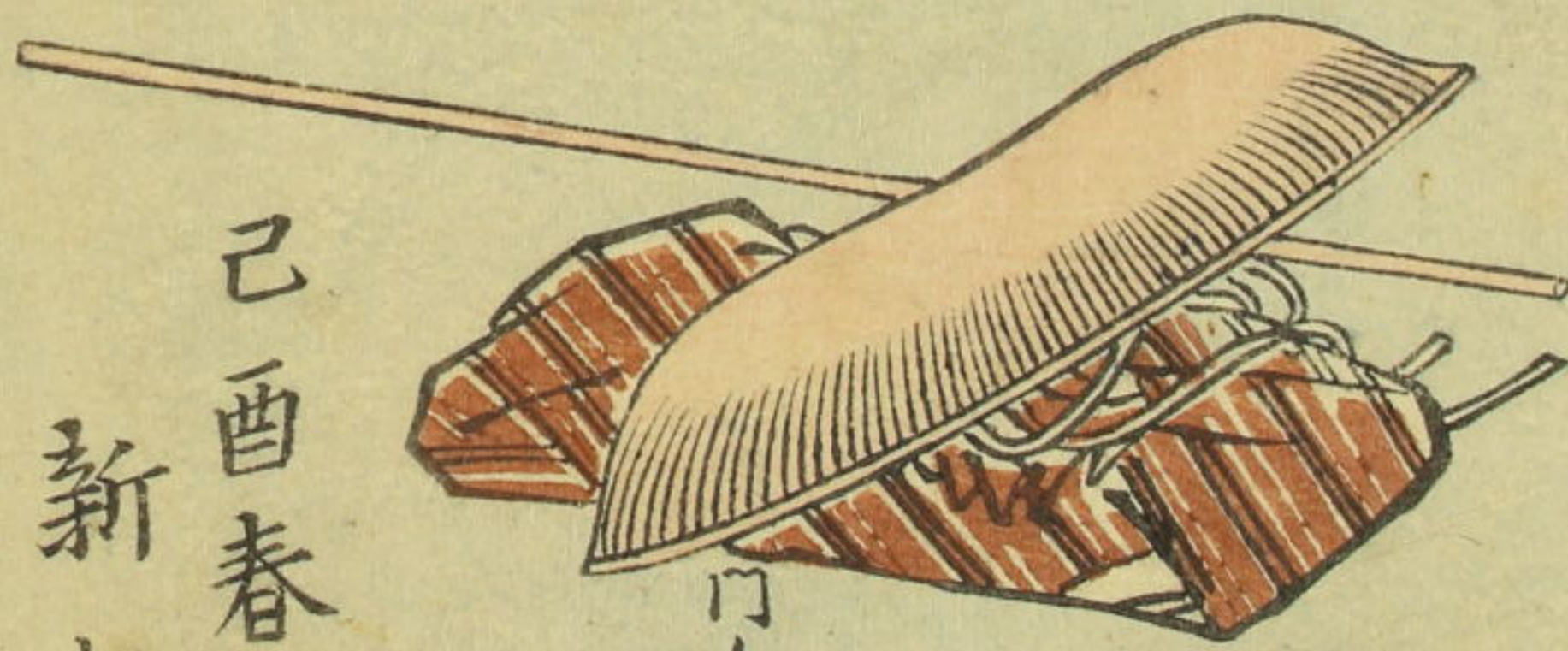
太 後 後 藏

赤 松 禪

四 編
 上 冊

如 淵 外 史 作

一 陽 齋 豊 國 画



人形町通元大坂町代地
 上外屋重藏板

己酉春
 新板

門人国政

一

應仁の亂の源を尋ねば妻妾の愛、偏頗
 神の嫡庶の分、平等左なり起ると
 誰をも、善悪の云ふ、是を撮んで小説と
 勸善懲惡の綾を、あつと、筆の幾と
 結す、と、拙けき、云ふ、と、云ふ、と、
 云ふ、と、云ふ、と、前か、あ、と、
 云ふ、と、云ふ、と、か、と、を、書、は、
 た、刻、絲、錦、か、と、あ、と、み、と、
 緒、を、の、説、を、む、る、の、と、

嘉永二年己酉春
 如淵外史



伊豫小富士

西園寺実俊の女

六公四



小倉宮乳母娘

仙の前

実俊の寵妃

西園寺

左衛門

督

実俊の妹

三才四

たらし糸乃

親

あせん

嵯峨野の

小仙



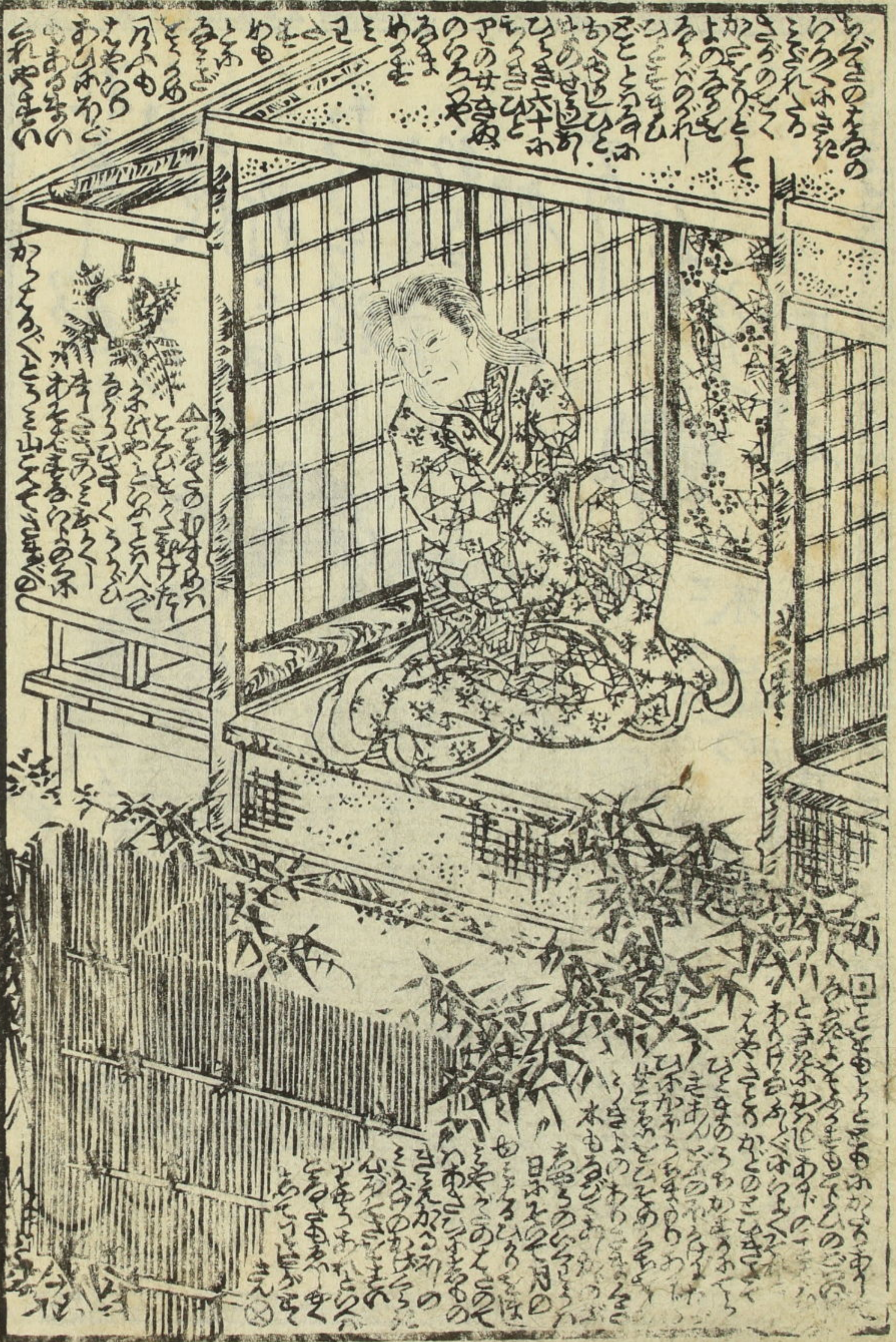
君がまふ

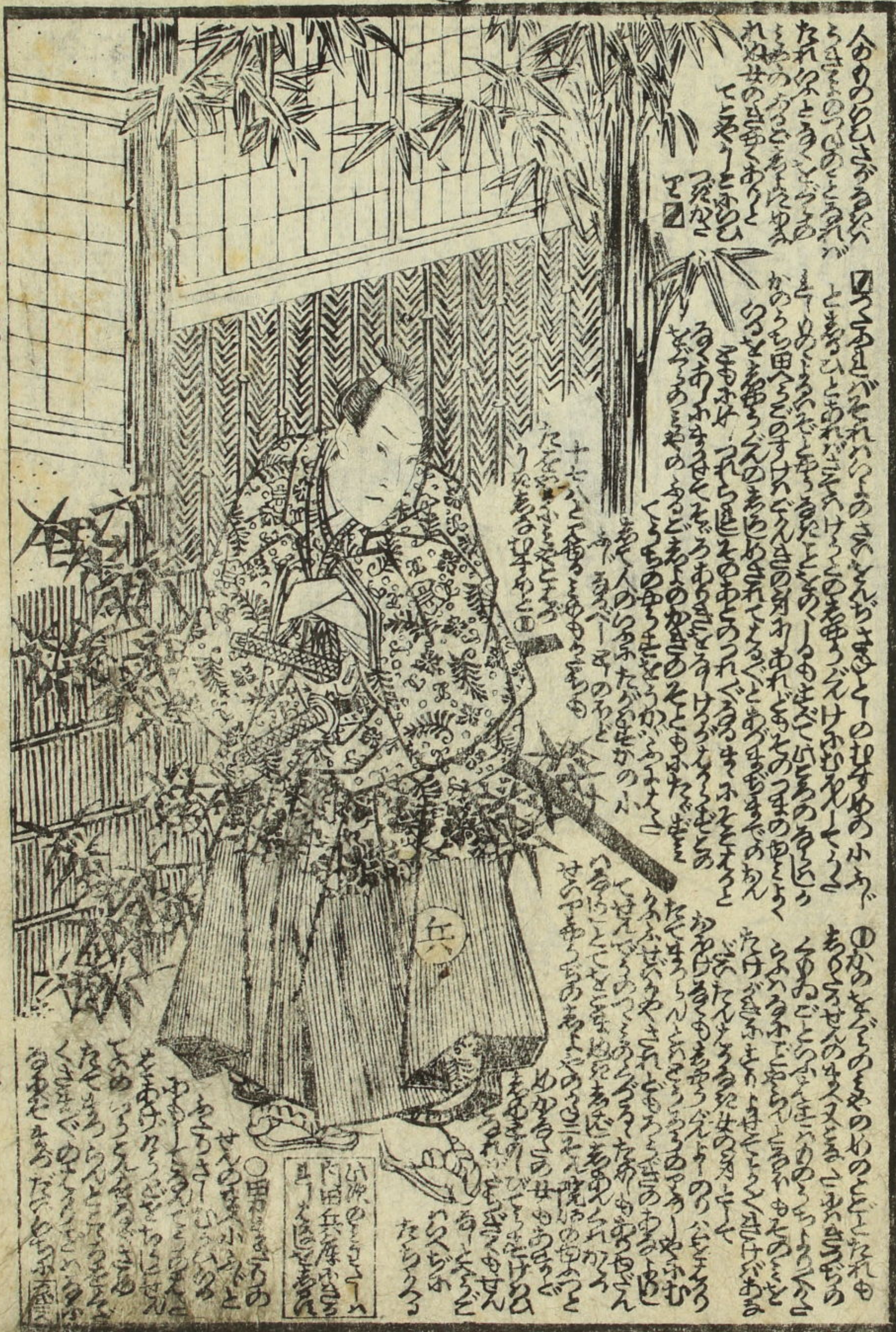
うはるる

たらし糸乃
あせん
親
あせん
たらし糸乃
あせん
親
あせん
たらし糸乃
あせん
親
あせん



木と遠の
雲井子





示 公 四

人の心のなかに
 なれど心に
 ありては
 人の心のなかに
 なれど心に
 ありては
 人の心のなかに
 なれど心に
 ありては
 人の心のなかに
 なれど心に
 ありては

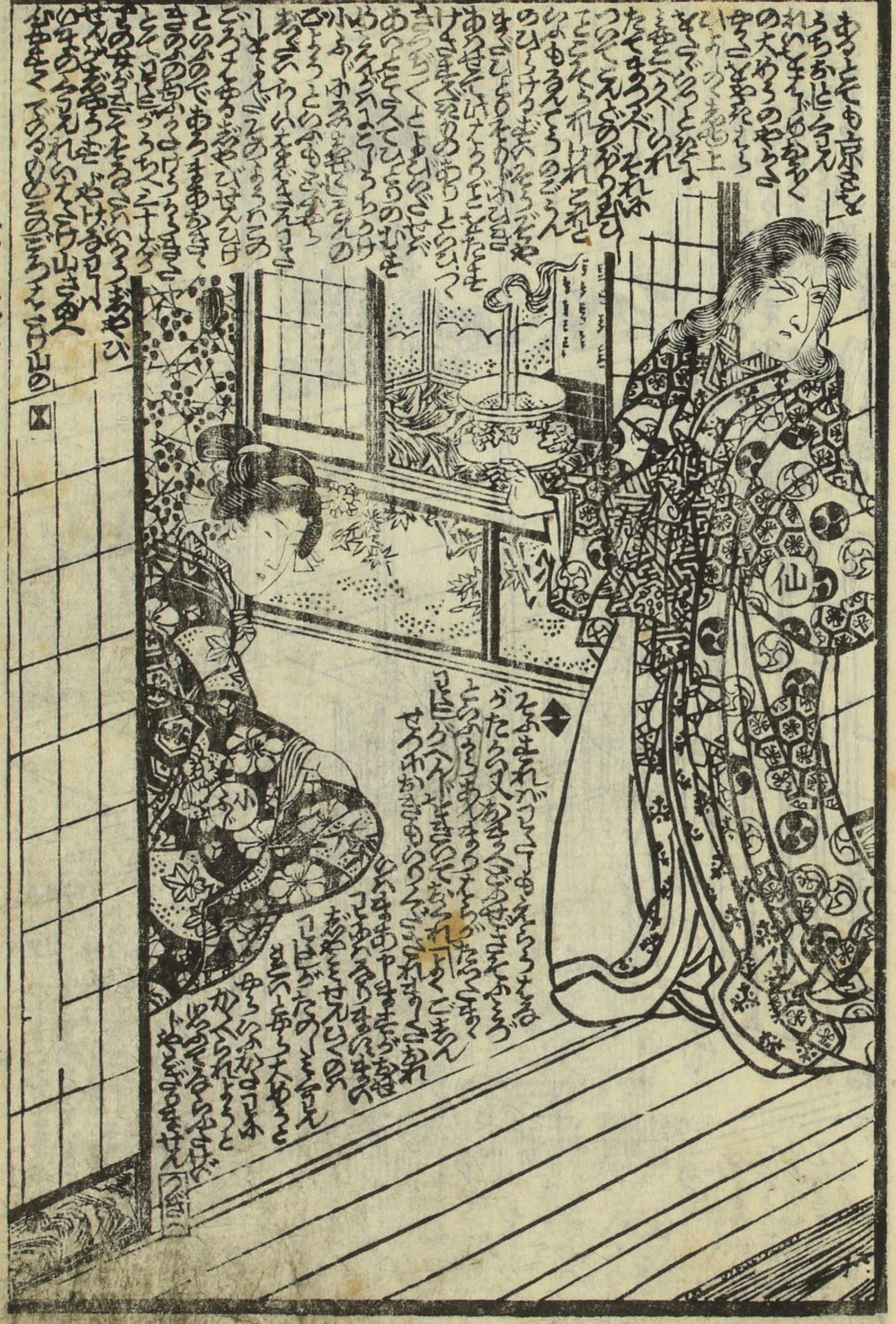


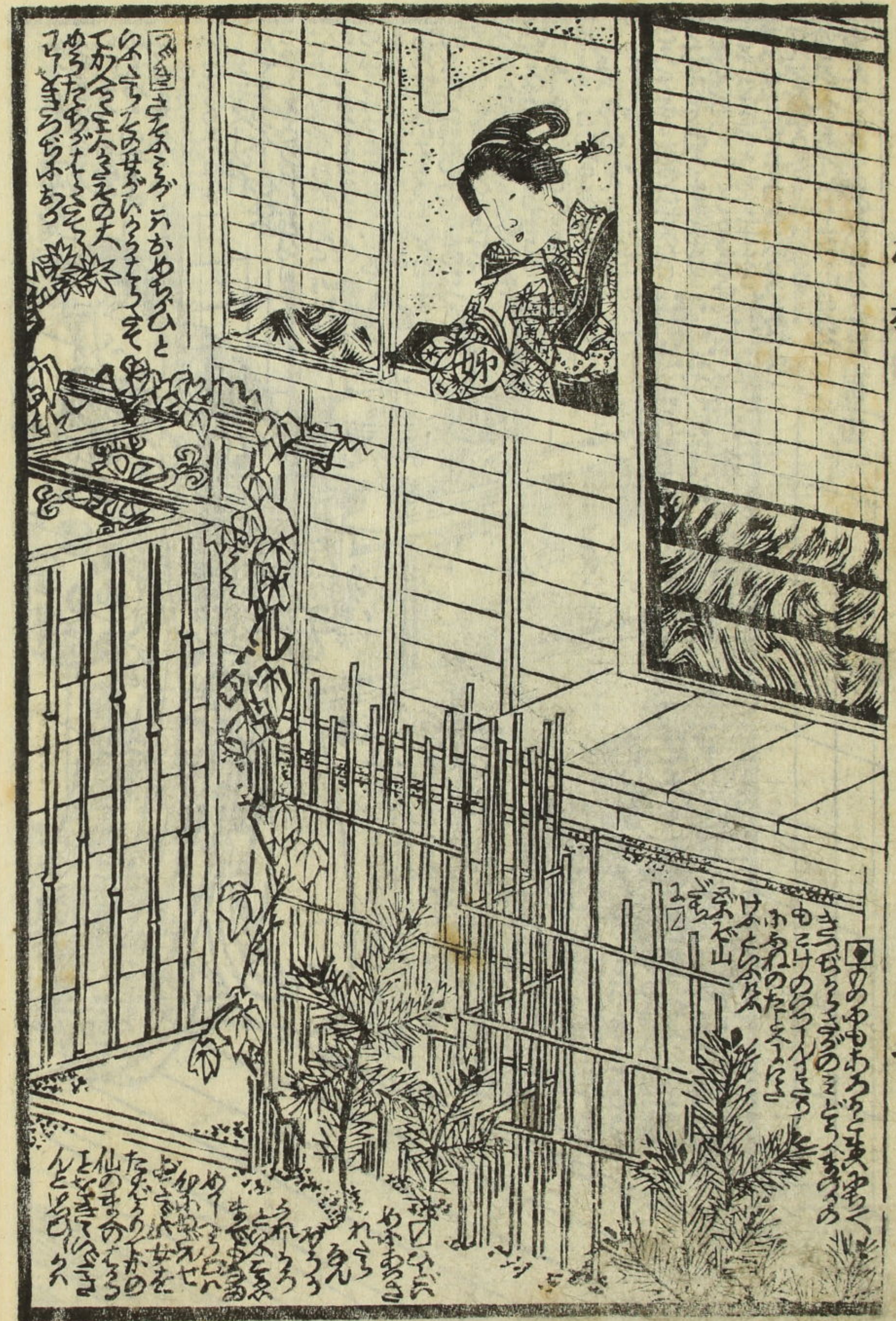
人の心のなかに
 なれど心に
 ありては
 人の心のなかに
 なれど心に
 ありては
 人の心のなかに
 なれど心に
 ありては
 人の心のなかに
 なれど心に
 ありては

此の世の世に...
 天の世の世に...
 自山...
 此の世の世に...
 大...
 此の世の世に...



此の世の世に...
 大...
 此の世の世に...
 大...
 此の世の世に...





木村

Handwritten text in vertical columns, likely a play script or commentary, surrounding the illustration of a woman in a kimono.



Handwritten text in vertical columns, likely a play script or commentary, surrounding the illustration of a woman in a kimono with a large plant.





如淵外史作

豊國画

此の如く... (Small text describing the scene or the artist's style)

此の如く... (More small text)

此の如く... (More small text)

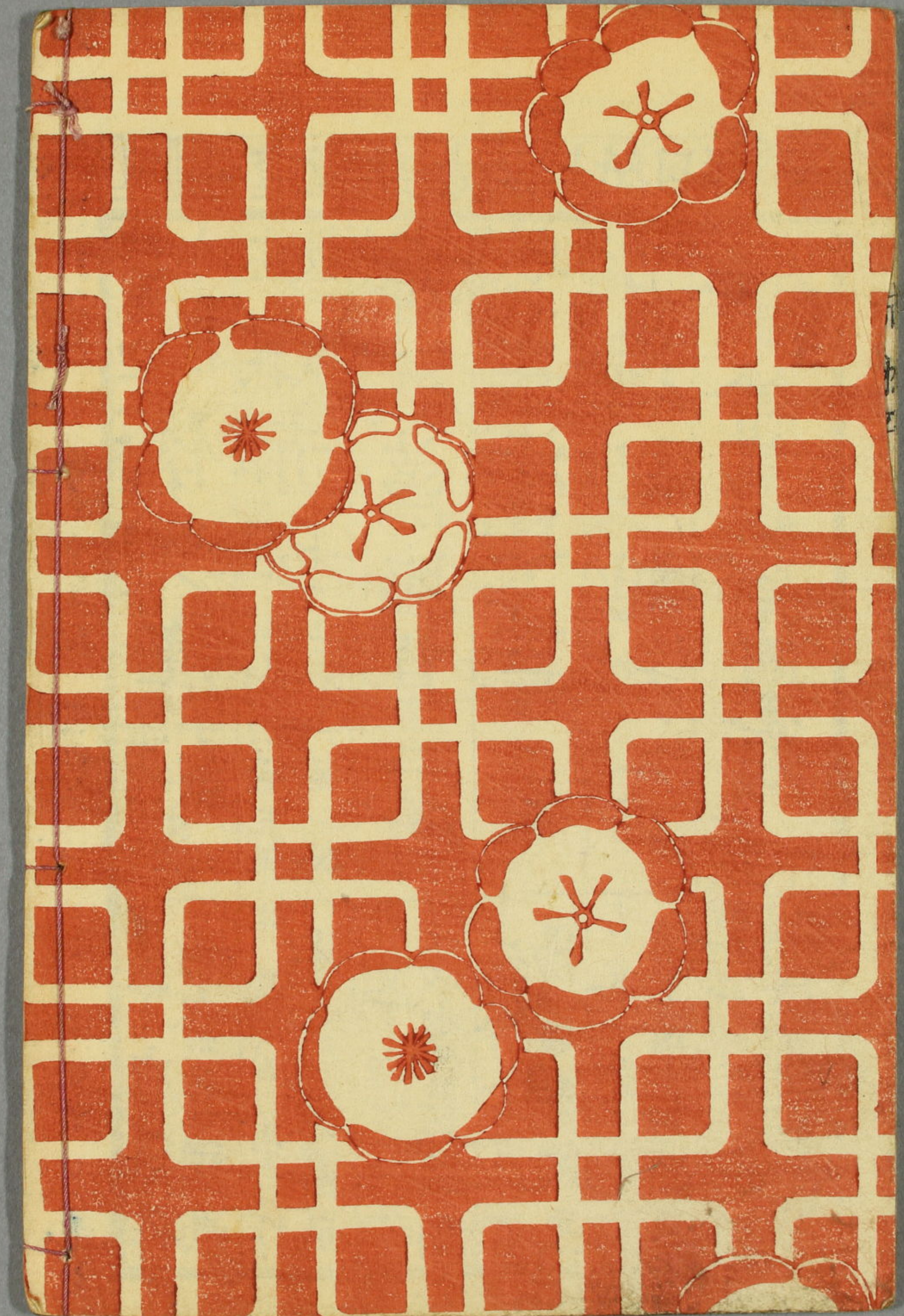
此の如く... (More small text)

此の如く... (More small text)

此の如く... (More small text)

錦重堂新板繪草紙目錄

<p>重繪草紙錦繪本類</p> <p>元大坂町代地角 上刈屋重藏版</p>	<p>日蓮記旭衣</p> <p>二編</p> <p>万亭應賀作 一陽齋豊國画</p>	<p>紫菜淺草土産</p> <p>五編</p> <p>十返舎一九作 一陽齋豊國画</p>	<p>神代藻塩草</p> <p>二編</p> <p>万亭應賀作 一陽齋豊國画</p>	<p>忠義赤松譚</p> <p>四編 五編 六編 七編</p> <p>如淵外史作 一陽齋豊國画</p>	<p>釋迦倭文庫</p> <p>七編</p> <p>万亭應賀作 一陽齋豊國画</p>
---	--	--	--	---	--



90 1 2 3 4 5 6 7 8 9 100 1 2 3 4 5 6 7 8 9

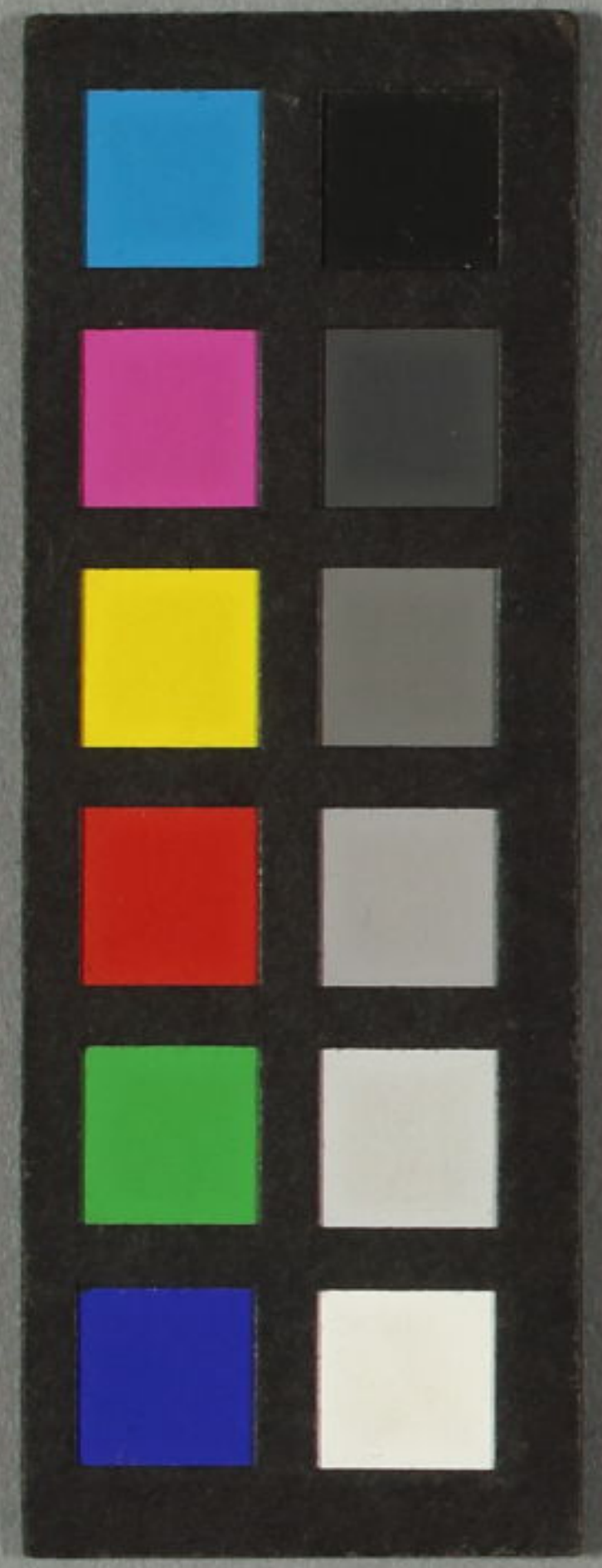
赤松

譚

一陽齋豊國画

錦重堂板

下



~ 13
3736
8

13
3736
8

赤松

譚

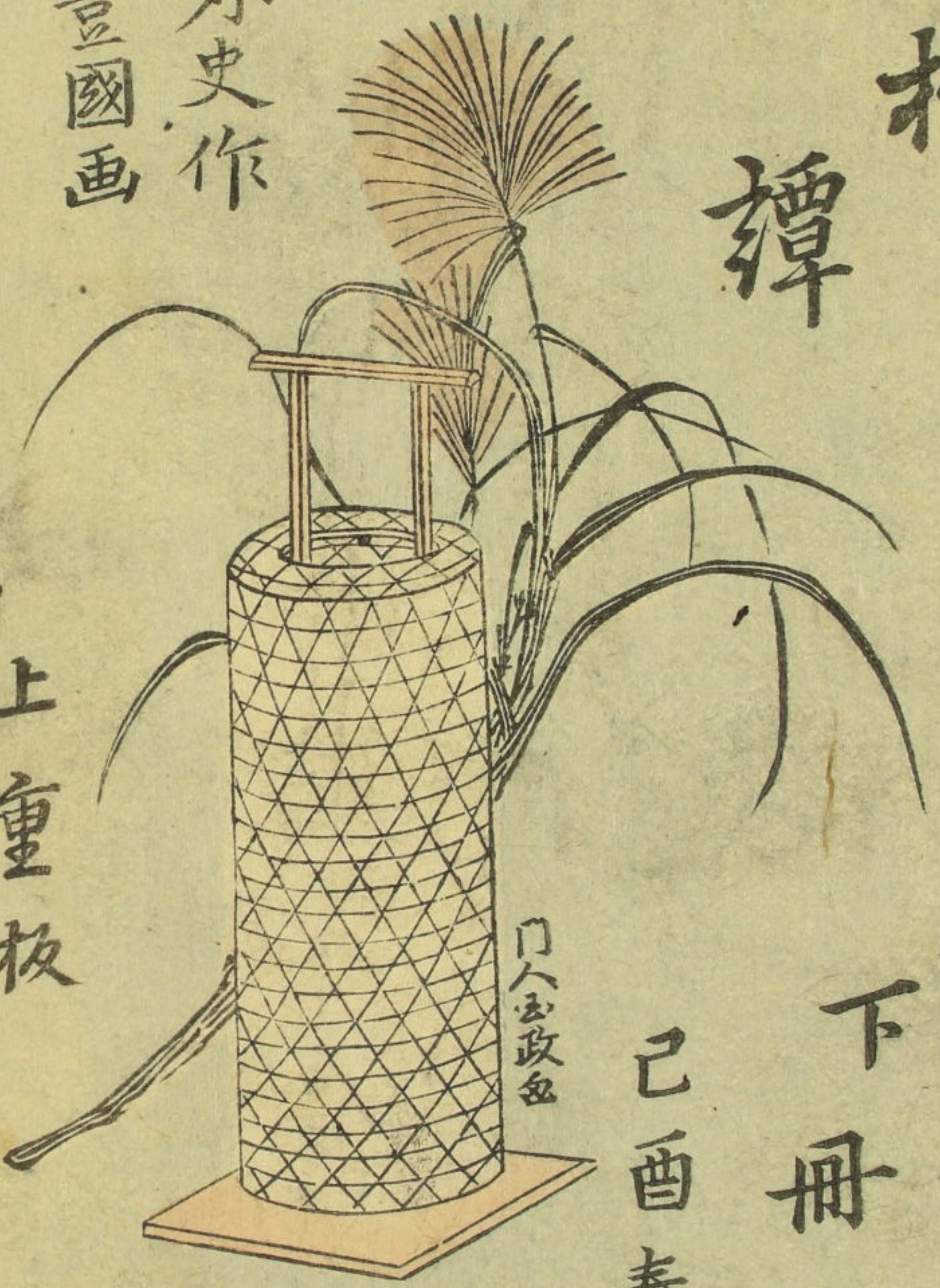
四編

下冊

己酉春

如淵外史作
歌川豊国画

上重板



門人玉政画

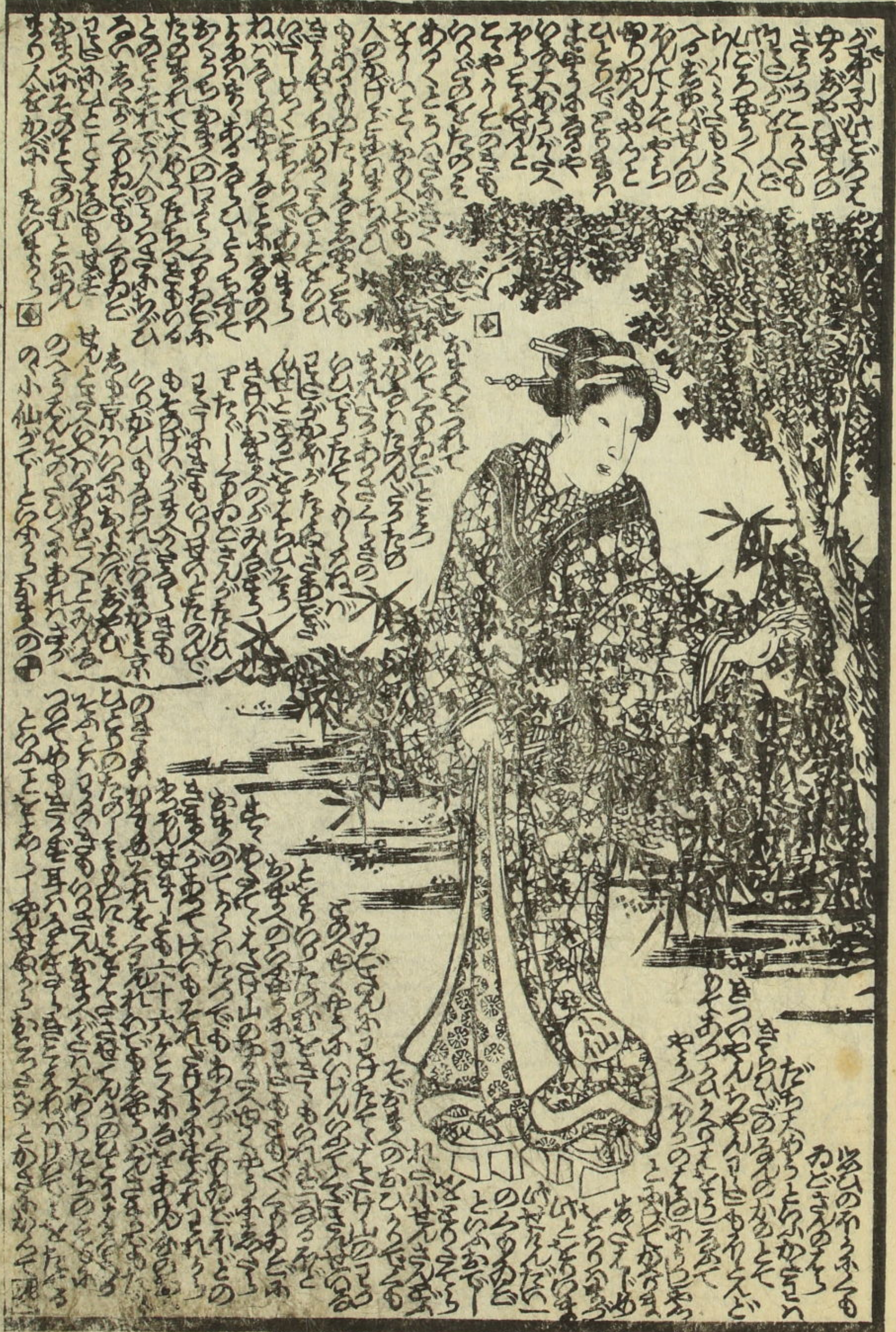


三



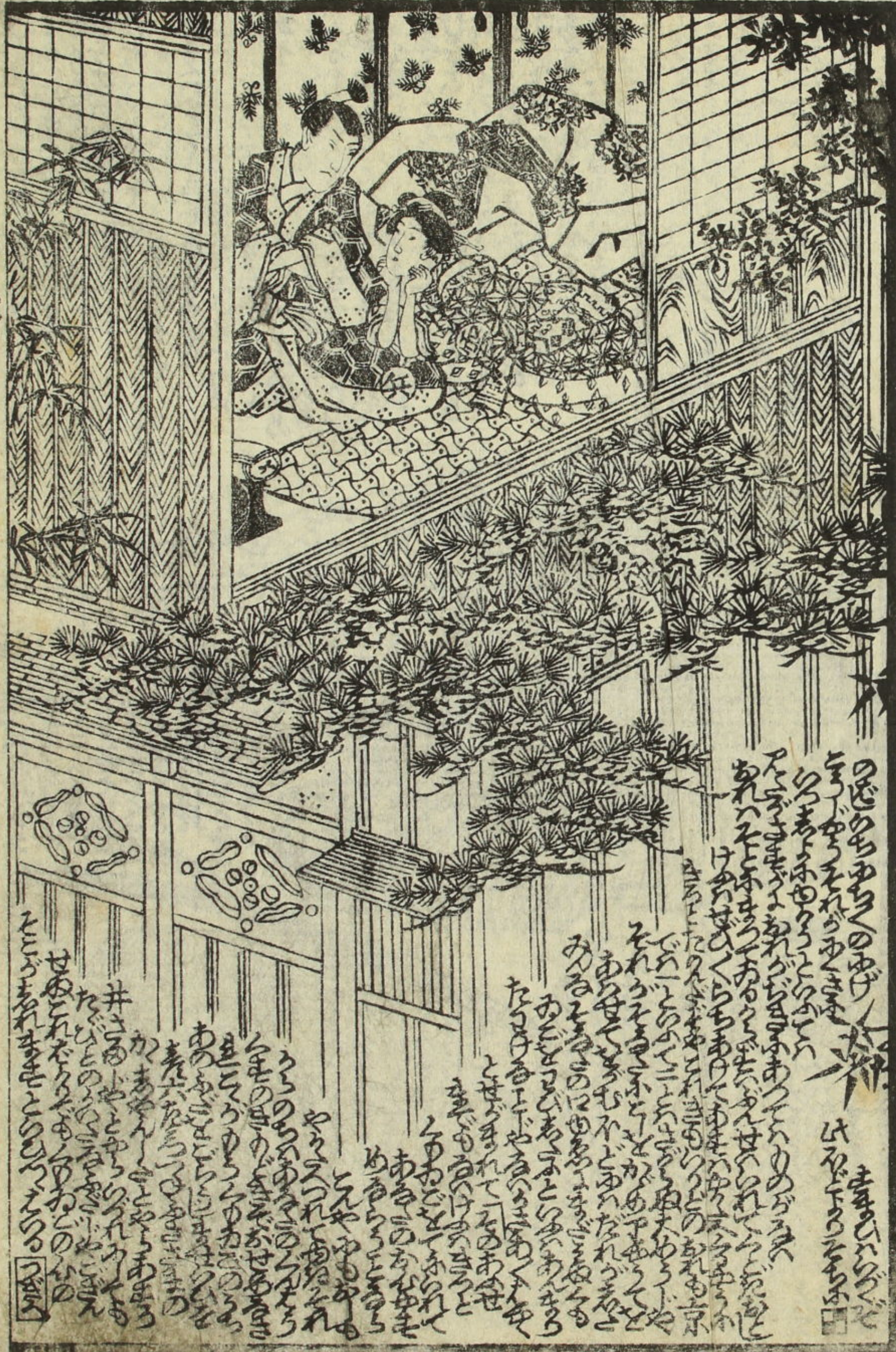
ついでに...
あつちの...
まゝに...
さうして...
あつちの...
まゝに...
さうして...
あつちの...
まゝに...
さうして...

あつちの...
まゝに...
さうして...
あつちの...
まゝに...
さうして...
あつちの...
まゝに...
さうして...



あつちの...
まゝに...
さうして...
あつちの...
まゝに...
さうして...
あつちの...
まゝに...
さうして...

あつちの...
まゝに...
さうして...
あつちの...
まゝに...
さうして...
あつちの...
まゝに...
さうして...





三の巻のうゑ
あつちのうゑ
あつちのうゑ
あつちのうゑ

あつちのうゑ
あつちのうゑ
あつちのうゑ



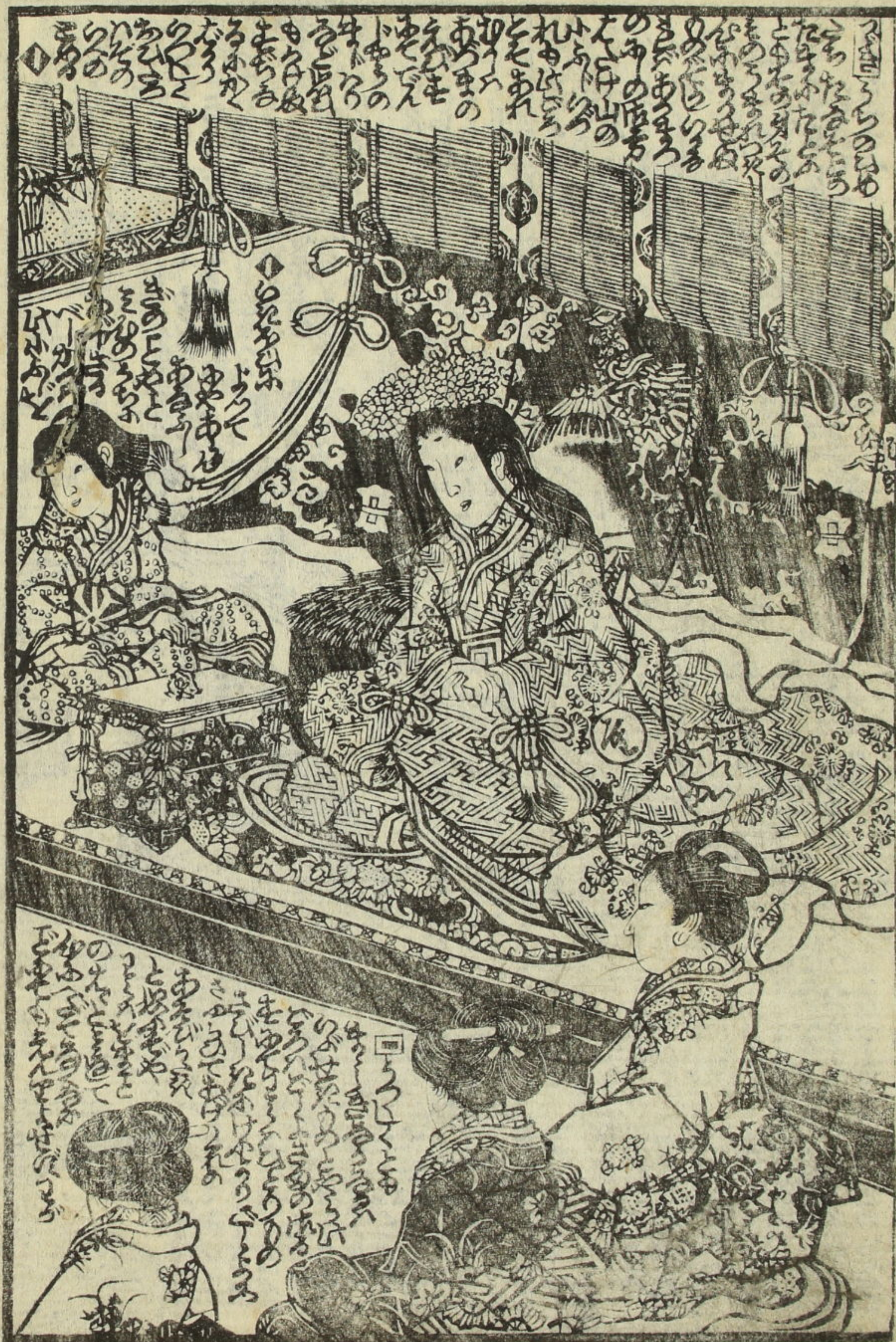
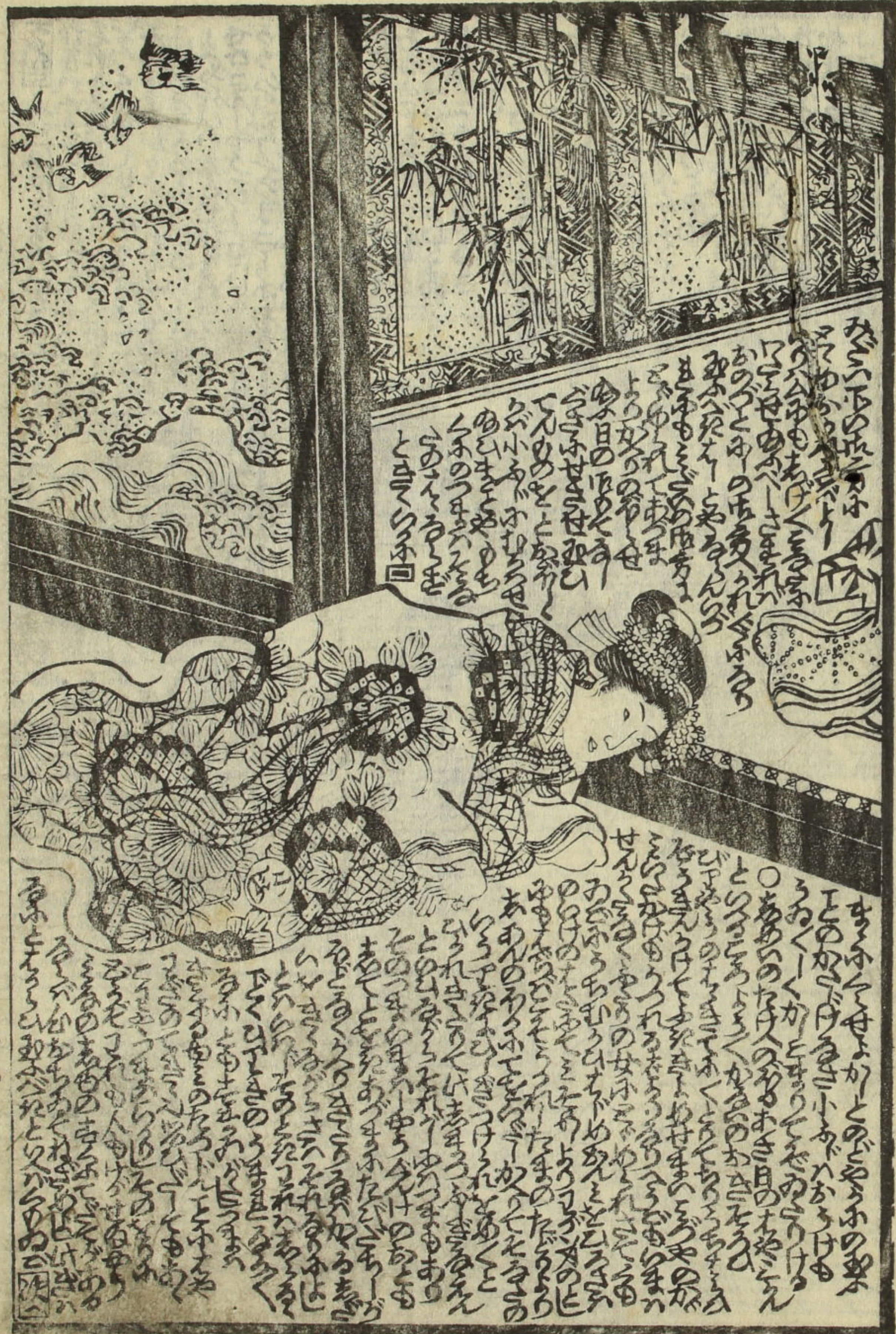
三の巻のうゑ
あつちのうゑ
あつちのうゑ
あつちのうゑ

あつちのうゑ
あつちのうゑ
あつちのうゑ



赤公四

赤公四



一、河内
二、美作
三、備前
四、備中
五、備後
六、安芸
七、出雲
八、美濃
九、信濃
十、上野
十一、下野
十二、常陸
十三、水戸
十四、越前
十五、富山
十六、石川
十七、福井
十八、山梨
十九、長野
二十、群馬
二十一、茨城
二十二、栃木
二十三、群馬
二十四、埼玉
二十五、千葉
二十六、東京
二十七、神奈川
二十八、新潟
二十九、富山
三十、石川
三十一、福井
三十二、山梨
三十三、長野
三十四、群馬
三十五、茨城
三十六、栃木
三十七、群馬
三十八、埼玉
三十九、千葉
四十、東京
四十一、神奈川
四十二、新潟
四十三、富山
四十四、石川
四十五、福井
四十六、山梨
四十七、長野
四十八、群馬
四十九、茨城
五十、栃木



一、河内
二、美作
三、備前
四、備中
五、備後
六、安芸
七、出雲
八、美濃
九、信濃
十、上野
十一、下野
十二、常陸
十三、水戸
十四、越前
十五、富山
十六、石川
十七、福井
十八、山梨
十九、長野
二十、群馬
二十一、茨城
二十二、栃木
二十三、群馬
二十四、埼玉
二十五、千葉
二十六、東京
二十七、神奈川
二十八、新潟
二十九、富山
三十、石川
三十一、福井
三十二、山梨
三十三、長野
三十四、群馬
三十五、茨城
三十六、栃木
三十七、群馬
三十八、埼玉
三十九、千葉
四十、東京
四十一、神奈川
四十二、新潟
四十三、富山
四十四、石川
四十五、福井
四十六、山梨
四十七、長野
四十八、群馬
四十九、茨城
五十、栃木



赤木

豊国画 梅ヶ畑 如淵外史作

豊国画の題意は、梅ヶ畑の如淵外史が、この画を鑑賞して、その美しき姿を讃めて、このように記したと云ふ。此の如淵外史の記述は、此の画の背景に、豊国画の題意を、梅ヶ畑の如淵外史が、この画を鑑賞して、その美しき姿を讃めて、このように記したと云ふ。此の如淵外史の記述は、此の画の背景に、豊国画の題意を、梅ヶ畑の如淵外史が、この画を鑑賞して、その美しき姿を讃めて、このように記したと云ふ。



清書 谷川

嘉永三年戊辰新春新板日録

奥奉公	倭文庫	武藝立身	奥奉公	將棊	重地本錦繪
二編娘	太子	立身館	出世	双六	團扇所
双六	双六	双六	双六	双六	
一陽齋	一陽齋	一陽齋	一陽齋	一陽齋	
應賀作	應賀作	應賀作	應賀作	應賀作	
画	画	画	画	画	
			元大坂町代地角		
			上州屋重藏版		

